

## 令和3年度 P T A本部役員

令和3年度P T A総会において、下記のP T A本部役員が承認されました。

会 長：石引 礼穂

副会長：岩田裕稔 大貫一永 大貫勝彦 太田垣淳一（校長）

監 事：岩崎知子 成川隆介 仲村真一 新木圭彦

書 記：猪瀬康之 三枝早苗 澤渡盛通



本年度 P T A 会長を務めさせていただきます石引と申します。会員の皆様におかれましては、日頃より P T A 活動へのご協力に感謝申し上げます。未だ終息の兆しがみえないコロナ禍において、P T A 活動も計画通りに進んでいない現状です。白龍祭での模擬店の出店や支部ごとに開催している茶話会は、学校の先生方と P T A 会員、P T A 会員同士のコミュニケーションの場として行われておりましたが、この2年間を行うことができませんでした。そんな中、先日太田垣校長先生と P T A 本部役員でオンライン会議を行いました。オンライン会議をして感じたのは、支部ごとに行われている茶話会もオンラインでも可能ではないかということです。今後検討していきたいと思えます。

さて、当校は本年、文部科学省委託事業である「学校安全総合支援事業」のモデル地域の拠点校に指定されました。この事業は、学校種・地域の特性に応じた継続的で発展的な学校安全に係る取組を地域が一体となって進めることができる体制を構築するために、市区町村教育委員会を中心として、モデル地域内の学校で学校安全の組織的取組、外部専門家の活用、国私立を含む学校間の連携を促進し、モデル地域全体で学校安全推進体制を目指すものです。この事業において重点的に取り組む領域は、災害安全です。当校が所在する龍ヶ崎市は、市内南部が過去に洪水被害を経験している地域であることに加え、市の中心部は急傾斜の土地もあり土砂災害も危惧されている状況で、近年の頻発化・激甚化している豪雨被害を踏まえると、水害・土砂災害に関する更なる防災教育の充実・徹底が必要になっています。

私が特に気になったのは、水害・土砂災害に加え地震災害のための備えです。電車やバスで通学している生徒も多いので、帰宅困難になる生徒がでてくる可能性もありますが、学校には災害用備蓄食料等は準備されていないのが現状です。この点について、P T A として協力した方がよいのではないかと、私は考えています。災害用備蓄食料等の必要数、係る経費を調査したうえで、P T A 会員の皆様と検討させていただきたいと思っています。よろしく願いいたします。